


# しまねの土地改良だより

平成 25 年 8 月 1 日発行

 水土里ネット島根

## ■水土里ネット島根管内別業務説明会がスタート

本会の管内別業務説明会が、7月2日の大田管内を皮切りに、松江、浜田、隠岐、雲南、出雲管内において開催されました。

29日に開催された出雲管内の説明会は、出雲市及び管内土地改良区の会員のほか、県から石井農村整備課長、黒田出雲県土整備事務所長を始めとする来賓の方々など総勢64名が参加して開催されました。



出雲管内で開催された業務説明会

開会にあたり本会の長岡会長（出雲市長）は「3年ぶりに自民党政権に戻り、今年度の土地改良関係予算は前年度の補正予算と合わせて平成21年度並みに復活したが、生産基盤が整備され農業農村が持続的に発展するためには、土地改良予算の必要額が安定的に当初予算で確保されることが重要である。農業生産基盤である農地や土地改良施設を次世代にきちんと引き渡すことができるよう、本会としても関係者の皆様方と連携しその一翼を担うべく努力していきたい」と挨拶されました。

また、来賓を代表して挨拶された黒田所長は「管内では、ほ場整備を契機とした農地集約が進んでいるが老朽化が進んだ施設も多い。出雲県土整備事務所では、このような地域の現状を踏まえつつ、ほ場整備を契機とした担い手育成、水利施設整備や中山間総合整備などの事業を進めているところであり、今後とも実施事業の確実な推進するとともに、関係機関との連携により農村の活性化が図られるよう努力していきたい」と述べられました。

説明会は、始めに本会から平成24年度事業報告及び会計収入支出決算報告並びに平成25年度事業計画について説明を行った後、石井農村整備課長から「島根県の農業農村整備事業の取り組みについて」と題し、今年度の国・県の農業農村整備事業予算の状況、新設・拡充された主要事業のポイント、出雲管内における土地改良施設の老朽化状況などについてご講演をいただきました。

引き続き行われた意見交換会では、出席者から市町村や地元負担軽減のための諸事業に対する国の補助率の嵩上げや土地改良区に対する行政サイドからの支援、また、本会に対しては会員である土地改良区の声を今以上に国や関係機関に届けてほしいなどの意見・要望が出されました。

今後とも会員からのご要望・ご提案の実現に向けて鋭意努力してまいります。

■水土里ネット島根管内別業務説明会がスタート	1
■隠岐、雲南管内で地域協議会総会を開催	2
■土地改良区の運営基盤強化について農政局と意見交換会	3
■田んぼにはどんな生き物がいるのかな？	3
■平成26年度県土連職員募集	4
■今後の主な予定	4
■お悔み	4

## ■ 隠岐、雲南管内で地域協議会総会を開催

### ◆ 7月22日 隠岐協議会

隠岐管内の4町村と5土地改良区で組織する土地改良事業団体隠岐協議会（会長・松田隠岐の島町長）の通常総会が隠岐支庁で開催され、会員のほか、県の隠岐支庁から酒井農林局長、原田県土整備局長などが出席し開催されました。

この会は、会員相互の協調をはかり、隠岐島における土地改良事業の円滑な推進に資することを目的としています。

松田会長は、開会挨拶の中で「上流の山林を整備しながら農地を守っていくことが大切である。隠岐では、パイプライン化をしていくことが、今後の水管理に必要ではないかと考えている」など、農地の確保や土地改良の必要性について述べられました。

議案は、平成24年度収支決算など5議案が上程され、いずれの議案も原案どおり承認、可決されました。

平成25年度の一般事業計画として、土地改良事業の指導及び助言、地域協議会活動として土地改良全国大会北海道大会に参加する土地改良区への支援、土地改良功労者の表彰、土地改良研修会の開催を実施することとなりました。

また、本年度は3年に一度の役員改選の年であり、役員には会長に隠岐の島町長の松田和久氏、副会長に海士町長の山内道雄氏、監事に八尾川以南土地改良区理事長の松森豊氏、二本松土地改良区理事長の真野明夫氏が再任されました。



挨拶をする松田会長

### ◆ 7月23日 雲南協議会

雲南管内の3市町及び4土地改良区で組織する雲南農業農村整備推進協議会（会長・井上奥出雲町長）総会が雲南県土整備事務所で開催され、会員のほか、顧問の滝本雲南県土整備事務所長、県の関係幹部職員など18名が出席されました。

開会にあたり、井上会長から「今政府においては、攻めの農林水産業を戦略に掲げ政策を展開しようとしている。この時期にこそ地域で頑張っている地元の声をしっかりと国や関係機関に伝えて行くことが大切である」との挨拶があり、その後議事に入りました。

議事では、平成24年度事業報告及び会計収支決算を承認した後、平成25年度事業計画並びに会計収支予算（案）について審議し、いずれも全会一致で承認されました。

本年度事業計画では、奥出雲町地内にある坂根ダムにおいて、地元や関連諸団体と連携しての農業農村整備事業の推進・啓発活動の実施や、江戸時代のかんな流しにより築造され、国の棚田百選にも選定された大原新田地区での現地研修を取り入れた、農業農村整備事業関係担当職員研修会の開催等のほか、土地改良事業関係等の連絡調整について協議されました。

議事終了後には、東部農林振興センターと雲南県土整備事務所の担当職員から、管内の農業農村整備事業の概要についての報告があり、会員が相互に連絡を密にして雲南地域の農業農村整備事業の推進を図っていくことを確認し閉会しました。



挨拶をする井上会長

## ■ 土地改良区の運営基盤強化について農政局と意見交換会

土地改良区の運営基盤強化などについて話し合う農政局との意見交換会が7月30日、土地改良会館で開催されました。

この会は、近年、農村地域における農業従事者の高齢化や都市化・混住化に伴う集落機能の低下に起因して土地改良施設の管理が複雑化・困難化している状況であることから、土地改良区が事務的・技術的能力を有する組織体制の確立や、土地改良区としての機能強化策などの課題について話し合うもので、中国四国農政局の主催で開催され、農政局から大木土地改良管理課長、中村土地改良指導官、島根県から石井農村整備課長、県土連から田中専務理事など15名が参加しました。



意見交換会の様子

参加者からの意見としては、「土地改良区の統合整備（合併等）に伴い賦課金が上がる場合、組合員の理解が得にくいことから賦課金の徴収をやめるケースが見受けられるが、土地改良区の財政基盤の弱体化に繋がるし、土地改良区に対する組合員の意識の希薄化にも繋がりがねない」といった意見や、「農地利用集積を推進する中で集落営農等農業経営の法人化により地主と耕作者の乖離がおこり、地主の土地改良区に対する意識が低くなってきているのではないか」などの意見が出されました。

また、土地改良区に対する組合員の意識を高めるため、「土地改良区営の事業を増やしたり、土地改良区の区域内で実施する事業の補助率の嵩上げがあるような制度を作って欲しい」といった要望も出されました。

本県を含め、管内9県から出されたこれらの意見・要望は、今後、農政局において取りまとめが行われ、土地改良区の機能強化策などに活用される予定です。

## ■ 田んぼにはどんな生き物がいるのかな？

### 山王寺「たんぼの学校」 ～2時間目・自然調べ～

7月27日、雲南市大東町山王寺地区において、田んぼの学校「棚田の自然調べコース」が開催され、市内外から親子連れなど約80名が参加しました。

生き物観察は、田んぼとため池で行われ、メダカ、オオコオイムシ、ドジョウ、マルタニシなどが観察されました。子ども達の網を持って真剣に生き物を探している姿や捕まえて網を覗き込む姿、また、昔を思い出し子ども達と一緒に夢中になっている大人の姿などがみられました。

講師の大嶋辰也氏（島根県技術士会生物多様性研究会）などから、捕獲した魚類・両生類・水生昆虫類についての詳しい説明があり大変参考になりました。また、この日は、地元の方の指導で案山子作りも行われ、竹、わら、古着などを使い子どもも大人も一緒になって作業を行いました。見かけたことはあっても、作ることはほぼ全員の方がなかったようで、貴重な経験となりました。



りっぱな案山子ができました

沢山のことを学んだあとの夕食会では、地元の女性による山王寺特製カレーライスをいただき、子ども達が“おいしい！”と言ってお代わりをする参加者もいました。

参加された方々からは、有意義な時間を過ごせたという満足感あふれる笑顔や“楽しかった”という声が聞かれました。

## ■平成26年度県土連職員募集

### 1. 募集人員

#### ① 大学卒業程度 …… 若干名

平成26年3月31日までに4年制大学（土木工学系または農業土木系専攻）を卒業見込みの者または卒業した者（いずれも平成元年4月2日以降に生まれた者）

#### ② 社会人 …… 若干名

平成26年3月31日現在の年齢が26歳から32歳の社会人で4年制大学（土木工学系または農業土木系専攻）を卒業した者

### 2. 応募期間

平成25年9月2日～平成25年9月30日

※詳しくは、本会ホームページまたは最寄りのハローワークまで

## ■今後の主な予定

8月1日 中国四国土地改良事業団体連合会協議会提案・要望活動（東京都）

8月8日 県央管内県土連業務説明会（川本町）

※おことわり・・・8月5日開催予定の「益田管内業務説明会」は、この度の豪雨災害のため延期いたします。

## ■お悔み

### 本会監事 松本正氏 ご逝去

本会監事・松本正氏（邑智郡石見土地改良区理事長・66歳）が、7月8日ご逝去されました。

松本正氏は、平成23年2月に本会監事に就任され、本会の業務運営と発展にご尽力いただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)